

はじまり

私は厳格な性格の父親と温和な母親のもとで育ちました。周囲からはとても明るく活発的だと言われ、小学生と中学生は野球をして楽しい生活を送っていました。風邪を引いても学校に行って休んでしまった日は「今の時間はちょうど〇〇をしている頃だ」「早く元気になろう」「〇〇は俺の分の給食を食べているだろうな」「早くみんなと遊びたい」と思うくらい学校で友達と一緒に過ごすことが好きでした。高校でも野球をやりたいと思い、さまざまな高校の野球部の練習を見に行き自分の気に入った公立高校の野球部で野球をやりたいと思い受験をしました。しかし、結果は不合格。高校生活では、通学は勉強をして授業はきちんと受ける、そして野球に専念して強豪校に勝ちたい、そのスタメンに入りたいという目標がなくなりました。そのときには自暴自棄になり、夜遊びをしたりしましたが滑り止めの私立高校に合格していたのでその高校に入学することになりました。

そこでも野球部に入ろうと見学に行き、実際に練習にも出てみました。けれども、私が思っているようなのびのびとした野球というより、規律に厳しく練習量も高校生としては多めだったため勉強との両立は難しいと考え入部はしないでいわゆる帰宅部として高校生活を送る選択をしました。クラスメイトとうまく関係を築き、特に仲良くなる友達ができればいいなと思いながら高校生活がスタートしました。朝一番に教室に入っているいろいろな同級生と話してみんなと仲良くしていこうと思い、行動してきました。そして、6人の仲良しグループができたのです！！他のクラスにも友達ができたり、初めての彼女ができたり人間関係はとても恵まれていました。仲良しグループとは休み時間や放課後、土日に遊ぶことが多くいつも一緒に過ごしていました。

が、ときが経つにつれて仲良しグループのパワーバランスが崩れていき次第に「一緒にいることが強制される関係」へと変化していったのです。 つづく